

児童発達支援・放課後等デイサービス自己評価表

特定非営利活動法人厚木なのはな

(児) …児童発達支援のみ (放) …放課後等デイサービスのみ

令和5年10月実施

	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標・工夫している点など
環境 体制 整備	1 利用定員は療育指導室等スペースとの関係で適切であるか	16	5	1	・狭いですが、仕方ないかと思います。 ・児発のお子さんや、グループ療育にはせまいと感じる。
	2 職員の配置数は適切であるか	13	9	0	FB中に兄弟を連れてきていたりすると、目が届かない時がある。
	3 生活空間は本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等はバリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	19	3	0	
	4 生活空間は清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか(児)	20	2	0	・狭いですが、仕方ないかと思います。
業務 改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	16	5	0	
	6 保護者等向け評価表を活用する等により保護者等の意向等を把握し業務改善につなげているか	17	4	0	
	7 この自己評価の結果を事業所の会報やホームページ等で公開しているか	22	0	0	
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	10	10	1	
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	22	0	0	
適切 な 支 援 の 提 供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、サービス計画を作成しているか	21	1	0	・アセスメントのレベルが良くわかりません。客観的に分析するほどには私自身の知識・経験がない。
	11 子供の適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	17	4	0	
	12 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか(児)	21	1	0	
	13 活動プログラムの立案をチームで行っているか	18	4	0	・集団等
	14 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	22	0	0	・グループ療育では、数年通われている方がいるため、同じ内容にならないように工夫している。
	15 平日休日長期休暇に応じた課題を設定して支援しているか(放)	14	7	0	
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる計画を作成しているか	20	2	0	
	17 支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	11	8	2	・必要がある時はできています。(FB時に誰が誰を見る等) ・集団療育はできています。
	18 支援終了後には職員間で必ず打合せをしその日行われた支援の振り返りを行い気づいた点等を共有しているか	15	6	0	・勤務時間が違うので全員揃うのは無理ですが、気づいた点があれば報告や相談をし合っていると思います。 ・集団療育はできています。
	19 日々の支援に関して正しく記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	22	0	0	
	20 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか(放)	19	2	0	
21 ガイドラインの総則の基本活動を組み合わせて、支援を行っているか	17	4	0		

	チェック項目	どちらともいえない			改善目標・工夫している点など	
		はい	いいえ	いいえ		
関係機関・保護者との連携	22 相談支援事業所の担当者会議があった際は、子どもの状況をよく知ったものが参画しているか	20	0	0		
	23 母子保健や子ども子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか(児)	16	4	0		
	24 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか(児)	16	4	0	・児による	
	25 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか(児)	16	4	0	・保育所訪問や学校へ行く週間などで学校へ行き、情報共有をしている。	
	26 学校との情報共有、連絡調整等を適切に行っているか(放)	17	4	0	・児による	
	27 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか(放)	10	10	1		
	28 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか(放)	8	11	1		
	29 児童発達支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	14	6	1	・まめの木研修	
	30 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や障害のない子どもと活動する機会があるか(児)	0	13	7	・事業所のイベントとしてはないかもしれないです。	
	31 放課後児童クラブや児童館との交流や障害のない子どもと活動する機会があるか(放)	0	14	6	・事業所のイベントとしてはないかもしれないです。	
	32 (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	16	4	1		
	保護者への説明責任等	33 日頃から子どもの状況を保護者と伝えあい、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	20	1	0	
34 保護者の対応力の向上を図る観点から保護者に対して家族支援プログラム(ペアレントトレーニング等)の支援を行っているか		15	6	0	・個別療育のフィードバックや面談などで対応方法はお伝えしていますが、全体に向けてのペアトレは行われていない。	
35 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか		20	1	0		
36 支援内容の説明を行い、保護者から支援計画の同意を得ているか		22	0	0		
37 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか		22	0	0		
38 父母の会の活動を支援したり保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		21	0	1		
39 子どもや保護者からの苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか		19	2	0		
40 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか		21	0	0		
41 個人情報に十分注意しているか		19	2	0		
42 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか		20	1	0		
非常時等の対応		43 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知しているか	21	0	0	
		44 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	21	0	0	
	45 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか(児)	17	2	0		
	46 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に説明し了解を得た上でサービス計画に記載しているか	10	6	0	・身体拘束は行う場がない。	
	47 ヒアリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	18	2	0		
48 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等適切な対応をしているか	21	0	0			